



研究科長 ご挨拶

研究科長 中原 睦美

本研究科は、高度専門職業人の臨床心理士養成に特化した臨床心理分野専門職学位課程として国民の心の健康に寄与すべく平成19年度に国立大学では初の独立研究科として設置されました。平成29年9月には、臨床心理士と相補の関係にある公認心理師が国家資格として誕生し、社会における心理職の認知の広がりが期待されます。

心の問題は、不登校や発達障害、統合失調症やうつ病、認知症、身体や家族をめぐる悩みや葛藤、自然災害、事故など多岐に亘り、その重みづけは個人によって異なります。さらにはCOVID-19(新型コロナウイルス)をめぐり、今後はPOST COVID(LONG COVID)と呼ばれる後遺症の問題や医療関係者等の燃え尽き症候群、長引くフィジカルディスタンスによる後遺症、など新たなこころの問題が予見されています。

臨床心理士の基盤は「臨床心理学」です。臨床心理学は、心理学ワールドの一つの領域であり、その独自性は「実践の学」にあります。臨床心理学では、心理療法の普遍性を探求しながらも、個々の面接はオーダーメイドで実践され、対象者はクライアントと呼ばれ、セラピストと呼ばれる心理支援者と同等に位置づけられます。セラピスト自身の心を使い、関係性を紡ぐなかでクライアントが主体的によりよく生きていく支援をすることが命題です。臨床心理学を基盤にクライアントが抱える問題の意味と一緒に考え、丁寧に寄り添い、「治すー治される」関係を越えたセラピストも共に成長する姿勢が求められます。悩みや困りごとの解決・解消はもちろん大切ですが、治らない病や悩み、葛藤という心の痛みに寄り添い、当事者がその人なりに抱えていける支援も大切です。

他方、心に関わることには副作用も生じます。そのため安心安全を提供する教育訓練や機関が必須とされ、養成大学院があります。本研究科は臨床心理士養成を軸に該当者には公認心理師受験資格を出すべく対応しています※1。自分のこころを使える心理職となるべく、本研究科で、皆さんと一緒に学んでみませんか。

※1 学部で公認心理師の受験に必要な科目を修めて卒業した人が対象となります。



教員紹介

教育研究教員

中原 睦美 (教授)
臨床心理学／ロールシャッハ法・コラージュ療法

主な研究
ヒューマニスティック心理学を基盤に自我心理学の理論を加味した心理療法の実践及び事例研究や質的研究

高橋 佳代 (准教授)
臨床心理学／発達臨床心理学・児童臨床

主な研究
子ども虐待や発達障害などを中心とした児童心理臨床に関する研究

廣瀬 幸市 (教授)
臨床心理学／臨床ナラティブ・アプローチ、統合的アプローチ

主な研究
臨床ナラティブ・アプローチの考え方をベースに個人臨床とコミュニティ臨床の視点を統合させた臨床心理の実践に関する研究

中村 真樹 (准教授)
臨床心理学／教育心理学・グループアプローチ

主な研究
発達障害児・者における情動発達や自己理解の発達に関する調査研究および実践研究

清重 英矩 (助教)
臨床心理学／描画法

主な研究
風景構成法をはじめとした心理臨床における描画法に関する実践と研究

実務家教員

宇都宮 敦浩 (教授)
臨床心理学／非行臨床心理学・犯罪心理学

主な研究
少年鑑別所や刑務所における実務経験をもとにした非行・再犯防止のための研究

久保 陽子 (教授)
臨床心理学／非言語的アプローチ

主な研究
児童期から青年期における心理療法の実践的研究、および描画や箱庭療法などを用いた非言語表現に関する研究

吉村 隆之 (准教授)
臨床心理学／学校臨床心理学

主な研究
いじめ防止対策推進法にもとづく心理職の対応、および学級や学校の荒れに対する支援の実践と研究

令和3年5月1日現在

入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

1 求める人材像

- 臨床心理学に関する専門的スキルを身につけたい人
- 臨床心理学に関する実践力を身につけたい人
- 臨床心理士資格の取得を目指す人
- 臨床心理士資格を有しており、リカレント入学としてより高度なスキルや実践力を身につけたい人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- 学士レベルの基礎的な知識とスキル
- 臨床心理学及び心理学に関する経験と幅広い知識
- 専門的心理支援を学ぶために必要となる柔軟な思考力と判断力

3 入学者選抜の基本方針

教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、専門科目(臨床心理学及び心理学に関するもの)、外国語科目(英語)、及び口述試験を課し、専門分野に関する知識や能力、英語の基礎的能力、臨床心理士になるための目的意識や適性を評価します。

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

鹿児島大学大学院臨床心理学研究科は、全学の学位授与の方針及び臨床心理学研究科の教育目標に鑑み、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得した者に「臨床心理修士(専門職)」の学位を授与します。

- 1 臨床心理分野の高度専門職業人としての責任感、職業倫理観をもって心理支援ができる能力
- 2 個人や組織・集団を対象とした見立てと心理支援ができる能力
- 3 地域の歴史や文化を視野に入れ、それらの理解に立った心理支援ができる能力
- 4 事例研究を行い、新たな課題探求ができる能力
- 5 臨床心理分野で指導的な役割を担うことができる能力



入学試験の概要

1 募集人員

募集人員は15名です。一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜のいずれかで選抜します。

2 出願資格

3つの選抜それぞれに出願資格を設けています。なかでも、社会人特別選抜では、心理職、その他の臨床心理学等に関連する職場において2年以上の勤務経験を有する者を対象としています。

3 選抜方法

出願書類で提出されたTOEIC Listening & Reading Testのスコアの原本 (TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)、筆記試験(専門科目)と口述試験の総合得点により、可否を決定します。

- 1 外国語(英語)試験は、提出されたTOEICスコアを換算して、選抜時の外国語(英語)得点とします。
- 2 筆記試験は、専門科目(臨床心理学及び心理学に関するもの)です。
- 3 口述試験は筆記試験を受けた者を対象とし、あらかじめ提出された心理臨床活動計画書等の書類を中心に、臨床心理学の知識を問うとともに、臨床心理士になる意思の確認や対人援助職としての適性を審査します。

4 選抜回数

年1回実施します(年内を予定)。



鹿児島大学法文学部 専門職大学院係

TEL 099-285-7504

※お問合せ受付時間 9時～17時まで(土・日・祝を除く)

〒890-0065 鹿児島市都元1-21-30

[E-mail] hdaigakuin@kuas.kagoshima-u.ac.jp



交通のご案内

JR鹿児島中央駅から徒歩約28分

バス 市営バス11、20番線、鹿児島交通バス18、19番線、

南国交通バスN39番線「法文学部前」下車 徒歩約3分

市電 「唐湊(とそ)」又は「工学部前」下車 徒歩約5分

JR 指宿枕崎線「都元駅」下車 徒歩12分

臨床心理学研究科ホームページ <https://cp.leh.kagoshima-u.ac.jp/>



未来に活躍する
心の専門家をめざして—

Graduate School of Clinical Psychology, Kagoshima University

鹿児島大学大学院
臨床心理学研究科

臨床心理学専攻 専門職学位課程

令和3(2021)年版

国民一人ひとりの心に寄り添う臨床心理士をめざす。

臨床心理分野専門職学位課程として国立大学初の独立研究科である鹿児島大学大学院臨床心理学研究科では臨床心理分野の高度専門職業人として、深い学識と卓越した能力及び職業倫理を身につけ国民のこころの問題に即応した心理支援ができる臨床心理士を養成することを教育目標としています。

公認心理師については、大学（学部）で指定科目を修得して卒業し、かつ本研究科入学後、本研究科が指定する公認心理師対応科目を修得することで、受験資格を得ることができます。



高レベルの専門知識を
しっかり習得
臨床心理士・公認心理師
有資格者である
専任教員による指導

徹底した少人数で
きめ細やかな指導を実現
充実した
スーパービジョン体制を
もつ心理臨床相談室

鹿児島大学大学院
臨床心理学研究科の

5つの魅力

★★★★★

実践からの技能と
学術体系が同時に学べる
実務家教員と
教育研究教員による
コラボレート授業

2年間4セメスターに
わたる学外実習
実務家教員による
教育、福祉、医療、
司法・矯正を網羅した
学外実習

指定大学院の
約3倍の実習時間
豊富な実務実践経験を
積める
学内・学外実習

ここも
スゴイ！

修了生の臨床心理士資格試験合格率 **96%**

本研究科を修了すると臨床心理士資格試験の **小論文試験は免除**

必修科目を含めた所定の単位を修得したのち、「臨床心理修士（専門職）」の学位が授与されます。また、本研究科を修了後、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が実施する直近の臨床心理士資格試験の受験資格を得ることができます。

充実した学修環境

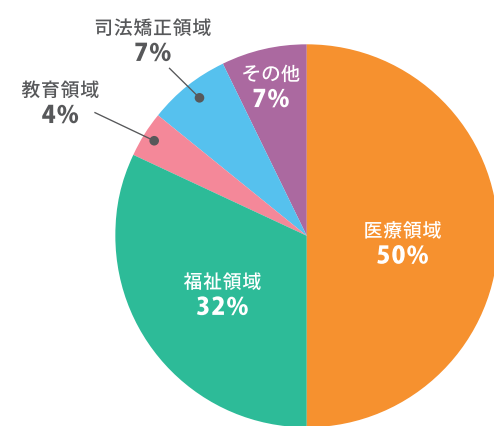
- 総合教育研究棟の中に、臨床心理学研究科の学内実習施設として心理臨床相談室があります。
- 学修環境として院生室があり、一人につき一台のパソコンを配備しています。
- 個人情報保護のために記録室を完備しています。



就職状況

県や市町村の心理職、家裁調査官補や法務技官などの公務員が2〜3割で、総合病院や福祉事業施設などにも幅広く巣立っています。

これらの実績が認められ、5年毎以内に受審する認証評価では平成28年度には2回目となる「適合」判定をいただきました。



※グラフ対象期間(1期生から12期生まで)

1期生から12期生まで**100%**を維持！ 就職率 **100%**
公務員(20〜30%)、医療関係等専門職で活躍中！

2016〜2020年度 修了生の主な進路

医療領域	独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院（宮城県） 国立がん研究センター東病院（千葉県） 心身障害児総合医療療育センター（東京都） 医療法人横田会 向陽台病院（熊本県） 医療法人カジオ会 八代病院（熊本県） 医療法人慈和会 大口病院（鹿児島県） 医療法人共助会 三州脇田丘病院（鹿児島県） 社会医療法人慈生会 ウエルフェア九州病院（鹿児島県） Tsukasa Health Care Hospital（鹿児島県）
福祉領域	児童心理治療施設 こどもの心のケアハウス嵐山学園（埼玉県） 世田谷区（東京都） こばんはうすくら（東京都） 社会福祉法人東京都社会福祉事業団（東京都） 北九州市立総合療育センター（福岡県） 社会福祉法人福岡市社会福祉事業団（福岡県） 鹿児島県中央児童相談所（鹿児島県） 鹿児島県こども総合療育センター（鹿児島県）
教育領域	学校法人野田鎌田学園 あずさ第一高等学校（東京都）
司法矯正領域	家庭裁判所 少年鑑別所 刑事施設
その他	株式会社 SEI CORPORATION（東京都） 九州大学大学院人間環境学府人間共生システム専攻・博士後期課程（福岡県）

修了生の声

鹿児島大学大学院臨床心理学研究科で学んだ先輩たちは、様々な分野で活躍しています。社会へ羽ばたいた、先輩に語っていただきました。

VOICE 1 鹿児島県中央児童相談所相談対応第二課 **K.Tさん**
2019年3月卒 臨床心理士・公認心理師

私は児童相談所の心理技師として、児童虐待や不登校、非行など様々な背景のある児童やその保護者との面接、心理検査を通じて、環境調整や家族支援等、その子にとってより良い支援は何か、児童福祉司と共に日々考えています。その際、大学院でケースを受け持ち、実践的に面接技法や心理検査を学び、スーパービジョンやカンファレンスで色々な視点を得た経験が支えになっています。大学院での2年間、多くの経験を通して学びを深めていってください。



VOICE 2 福岡刑務所 法務技官（心理） **A.Nさん**
2018年3月卒 臨床心理士・公認心理師

本研究科を経て、私は現在、刑事施設で法務技官として勤務しています。被収容者の面接や心理検査を行い、非行・犯罪の背景にある要因や問題点を調査する仕事です。被収容者を慮る場面では、大学院で学んだ心理臨床を振り返ることが多く、2年間の学びは現在の私の基となっています。指導教員や院生仲間と意見を交わす中で多様な視点を学び、実習など実践的な取り組みができたことは、今尚貴重なものだと感じます。受験生や在院生の皆さんにおかれましても、充実した環境の中で豊かな学びが得られるように応援しております。



VOICE 3 指宿竹元病院 **K.Hさん**
2018年3月卒 臨床心理士・公認心理師

依存症治療を専門とした精神科病院で、面接や検査だけでなく、内観療法や集団療法も行っています。仕事では、大学院で学んだ心理職としての基本的態度が重要であることを痛感しています。依存症では、addictionからconnectionへ変化することが大切だと言われ、心理職にとっても同様だと思っています。この仕事は多くの支えがあって成り立つものです。関係を築き活かすことが、今後の自分とクライアントの利益につながると思いますので是非大学院ではそのことを意識しながら勉学に励んで頂きたいです。



VOICE 4 学校法人野田鎌田学園 あずさ第一高等学校 **M.Oさん**
2018年3月卒 臨床心理士・公認心理師

現在は通信制の高等学校で常勤のスクールカウンセラーをしています。生徒や保護者の方の相談、授業や行事等でのサポートや、教職員や保護者の方向けの講話など様々な業務に取り組んでいます。様々な領域での実習のおかげで、仕事上で他機関の方と連携する際に、“何が必要なのか”がイメージしやすいとともに、尊重することの大切さをもって臨むことで良好な関係作りにつながっていると思います。実務は手厚く指導していただいていた大学院と違い、戸惑いと困難の連続ですが、院で学んだ数々のことが支えになっています。



VOICE 5 学校法人原田学園 原田学園こたばの支援センター **A.Kさん**
2017年3月卒 臨床心理士・公認心理師

私は現在療育に携わり、お子様の発達をサポートするお手伝いをしています。業務としてはお子様への発達検査の実施や保護者相談、ソーシャルスキルトレーニングの集団療育を行っています。幅広い年齢のお子様と関わる機会がありますが、大学院において、クライアントさんの表現を大切にすることや人の心身の発達段階について学んだことが、今の職場で利用者様と関わる際に活かされています。入学希望者・現役生の皆さんには、目の前のクライアントさんに真摯に向き合うことを心掛けながら、できることを一つ一つ積み重ねていただきたいと思います。

